Q&A活動

☆ねらい

１section分の長さの英文に関してその内容についてのTF文や疑問文を作ることで、何

度もその英文を読み、内容をより詳しく把握する読解力が身につき、英文内容についていろいろな視点からつかむ力をつけることができる。

☆扱う場面

・全学年対象、教科書本文内容把握指導時のまとめ段階

☆指導の手順と留意事項

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導の仕方・留意点等 |
| 1. 文番号をつける。 | ・生徒自身に英文の量や１文の長さを確認させるため生徒自身にさせる。  ・教師が説明や解説する際に、どの英文のことなのか伝えやすい利点があ  る。 |
| 1. 英文を黙読、音読する。 | ・英文量や生徒の実態に応じて、時間を設定し、タイムプレッシャーをかけ  て黙読させ、内容を把握させる。 |
| 1. 英文内容の解説を聞く。 | ・必要に応じて、最小程度でおこなう。 |
| 1. **TF Quiz**     ・**F文**（ウソ英文）を作る。  ・**T文**（ホント英文）を作る。 | ・「ウソ英文を作って**TFクイズ**にしよう」  ・**F文**を作る際のヒントとして、単語を少し変えてみることを伝える。  具体例も挙げる。  英文番号①last Monday ②in the morning ③near  ・「ホント英文(Ｔ文)」の作り方は、同義語等に置き換えることもポイントだと  知らせるとよい。  英文番号②She saw many people there around noon. |
| 1. **Y/N Question**を作る。 | ・具体例を挙げる。  ☆Be動詞タイプの文の場合⇒英文番号④⑤⑥  ⑥Were the cherry blossoms very colorful? (N)  ☆一般動詞タイプの場合⇒英文番号①②③  ③They sat under the cherry trees.  　 　did sit  →Did they sit under the cherry trees? (Y) |
| 1. **Wh-Question**を作る。 | ・**Wh-**　や**How**をつけて疑問文にさせる。　具体例を挙げる。  答えも用意させるとさらに力が伸びる。  英文番号②④  ②When did she see a lot of people in Sakura Park?  ⇒She saw　them there around noon. (一般動詞タイプ)  ④What were they doing there?  ⇒They were having a hanami　party.　(Be動詞タイプ) |